

■インフラツアーのとりのくみ

《目的》

- 鶴田ダム役割と再開発事業の理解促進
- 多くの人に感心をもってもらうと共に地域の発展につなげる

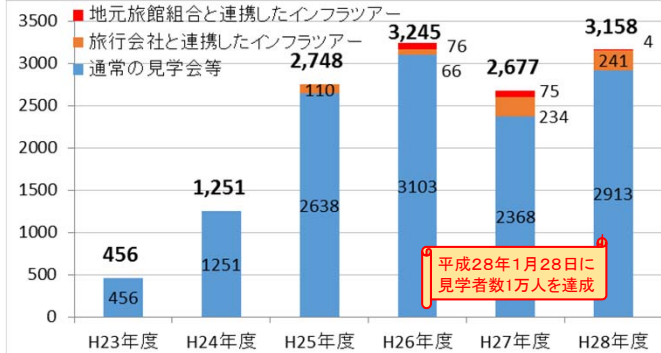
《実施内容》

①旅行会社と連携したインフラツアー

- ・旅行会社の企画するツアーの中で実施
- H25年度～H28年度(4年間)
- 全27回 651名参加

②地元旅館とタイアップしたインフラツアー

- ・地元の旅館に宿泊した方を対象に、翌日の朝に鶴田ダム・再開発事業の現場を案内
- H26年度～H28年度(3年間)
- 全17回 155名参加



インフラツアーのチラシ(平成28年度)

《平成28年度の実施結果》

- インフラツアー参加者数 245名
- その他見学者数 約2900名
- 見学者の大半の方から「大変良かった」又は「良かった」との感想
- 幅広い性別・年代の方が参加
- 流域外の集客もあったことから、多くの方に関心をもって頂くことができたとともに、多くの集客により周辺地域の発展にも繋がる。

■ダムを見に行こう

○ダムに関する見どころや特集について掲載しています。
各ダムいろんな特色があるので、みなさん、ダムを見に行きませんか？

詳しくは、国土交通省ホームページの「ダムを見に行こう」によりツアー情報を入手できます。

国土交通省 水管理・国土保全局 ダムツーリズムHP
http://www.mlit.go.jp/river/dam/dam_tourism.html



■ダムコレクション

○H28.3にダムのPRを目的に新たに開設されました。各ダムごとの見所などを紹介しています。他にも、ダムの役割等を分かりやすく解説、過去の洪水時におけるダムの洪水調節効果等をリアルデータで紹介しています。

ダムにでかけられる前には是非ご覧ください！



国土交通省 水管理・国土保全局 ダムコレクションHP
<http://www.mlit.go.jp/river/damc/index.html>



Front Line 国土交通省 九州地方整備局

鶴田ダム再開発事業

～日本最大規模のダム再開発事業～



平成29年3月 撮影

平成18年7月 浸水被害状況

平成18年7月出水で、川内河流域の全水位観測所15箇所のうち11箇所で観測史上最高水位を観測し、全域で甚大な被害が発生
・死者・行方不明者2人 ・家屋全・半壊32戸 ・浸水戸数2347戸



流域内各地で浸水被害！！



中津川地区浸水状況(湧水町)



下流の被害を守っている 鶴田ダムの状況

虎居地区浸水状況(さつま町)

虎居地区浸水状況(さつま町)

平成18年7月出水により 甚大な被害を受け

『鶴田ダム再開発事業』と『河川激甚対策特別緊急事業』と併せ実施し川内川の治水安全度の向上を図ります。

【この資料のお問い合わせ】

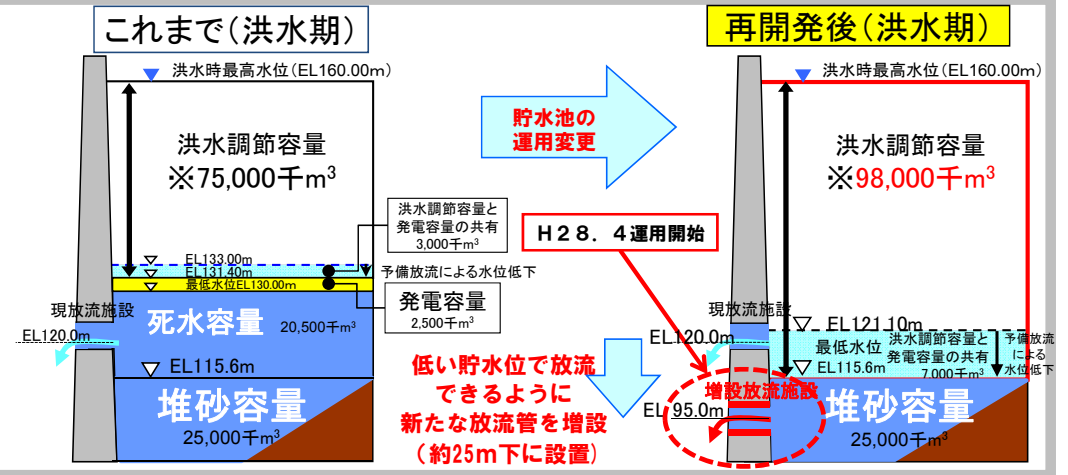
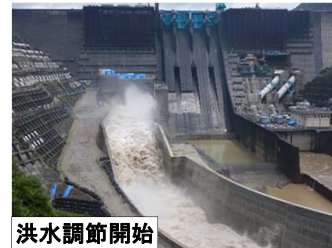
福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7 国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川計画課 TEL:092-471-6331

Vol.3<H29.3>

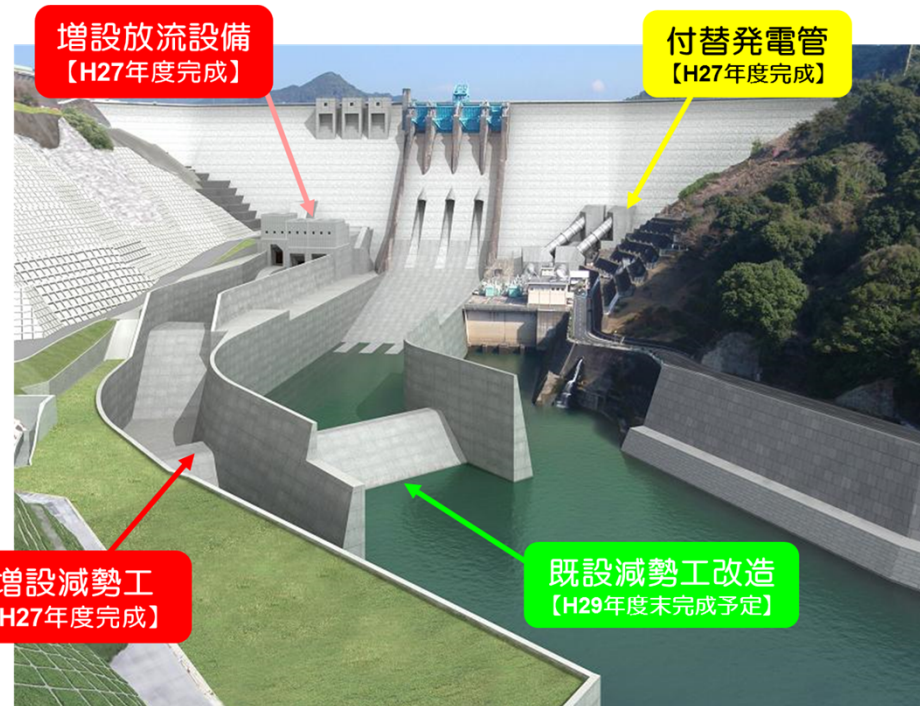
鶴田ダム再開発事業 ～日本最大規模のダム再開発事業～

■事業目的

平成18年7月、川内川流域は記録的な豪雨によりこれまでにない大きな洪水被害を受けました。鶴田ダム再開発事業は、洪水による被害を軽減するため、鶴田ダムの洪水調節容量を最大75,000千 m^3 から最大98,000千 m^3 (約1.3倍)に増やす事業で、平成19年度より事業に着手し、平成28年度より再開発事業の治水効果が発現しています。



■事業メニュー



※現時点の完成イメージであり、実際とは異なる場合があります。

■鶴田ダム再開発事業の特徴

日本最大規模のダム再開発事業

- 鶴田ダム再開発事業は、日本におけるダム再開発事業の中で
- ① 日本最大規模の設計水深での堤体削孔(ダム本体穴あけ)工事
 - ② 5本の堤体削孔を行う工事も、日本最大規模
 - ③ 堤体削孔の長さも日本最大規模
- ※ダムの機能を維持しながら工事を行いました。

